

Nagoya College of Music

名古屋音楽大学

2019 年度 学生募集要項

- ◆1 年次入学試験
- ◆2 年次編入学試験
- ◆3 年次編入学試験
- ◆大学院入学試験
- ◆研究生（学部）
- ◆研究生（大学院）

【外国人留学生用】

◆INDEX◆

入学試験共通項目	P.2
学部入学試験要項	P.3
大学院音楽研究科入学試験要項	P.21
研究生（学部）募集要項	P.31
研究生（大学院）募集要項	P.32
譜例・例題	P.33

名古屋音楽大学を志すみなさんへ

名古屋音楽大学の建学の精神は、「共なるいのちを生きる」です。自分の個性、主体性を見失うことなく、しかも他者と共に生きるという意味です。名古屋音楽大学に入学し、音楽を愛する人たちと出会うことで、それぞれの音楽を大切にしながら、一人ひとりの可能性を伸ばしてほしいと思います。

●アドミッションポリシー

本学の建学の精神である「共なるいのちを生きる」は、お互いの違いを認めながら協同して生きるという意味です。「自分と異なる個性を受け入れ認め合う、他者に対して思いやりの気持ちをもつ」というのが本学の根本精神です。

- 多様な個性を認めあい、共感する心をもった学生を求めます。
- 自分の個性を大切に、学習する意欲をもった学生を求めます。
- つねに前向きに努力し、達成する喜びを追求する学生を求めます。

名古屋音楽大学は、音楽という専門を学ぶことを通じて、響きあう心と響きあう命について深く学ぼうとする意欲にあふれる学生を求めます。

名古屋音楽大学大学院を志すみなさんへ

名古屋音楽大学大学院では少数での教育のため、教授陣がしっかりと学生に向き合い、可能性を伸ばすお手伝いをすることができます。また、学部の教授陣に加え、著名な学外の演奏家を客員教授としてお迎えしています。

大学院の2年間は、人間性と専門性を伸ばす貴重な時間となると思います。恵まれた環境の名古屋音楽大学大学院で大いに研鑽を積み、音楽の専門家として世の中に羽ばたいてください。

●アドミッションポリシー

本学の建学の精神である「共なるいのちを生きる」は、お互いの違いを認めながら協同して生きるという意味です。

「自分と異なる個性を受け入れ認め合う、他者に対して思いやりの気持ちをもつ」というのが本学の根本精神です。

名古屋音楽大学大学院音楽研究科では、本学の建学の精神と教育方針のもとで学修するに相応しい以下のような力を有する学生を求めています。高度な専門性を追求する力、国際感覚を磨く力、自ら社会に貢献する能力を養う力を備え、大きな夢を持って、将来広く音楽に関わる分野を担う資質・能力と豊かな人間性を持った学生。

【外国人留学生用】名古屋音楽大学 入学試験共通項目

■ 入学試験検定料

35,000 円

※ 1次選考合格の連絡を行う時に、検定料の納入方法を通知しますので、指示に従い納入してください。

(出願書類の送付時には納入しないでください。)

※一旦納入された検定料は、いかなる理由においても返還いたしません。

■ 出願方法

書留速達郵便で送付してください。本学窓口での受け付けは行いません。

- (1) 出願書類の記入漏れ、貼付漏れ等の不備があると受け付けできない場合があります。
- (2) 出願後の志望コース・試験曲目等の変更は認めませんのでご注意ください。
- (3) 試験日 3 日前までに受験票が届かない場合は、本学入試・広報センターまでお申し出ください。

■ 出願先

〒453-8540 名古屋市中村区稲葉地町 7-1

名古屋音楽大学 入試・広報センター TEL 052-411-1545

■ 合格発表

合格通知は本人宛に郵送します。尚、電話による問い合わせには一切応じません。

■ 受験に関する注意事項

- ① 受験票、筆記用具は試験期間中必ず持参してください。
- ② 指定科目を 1 つでも受験しなかった場合は全試験棄権したものとみなします。
- ③ 昼食は各自で用意してください。
- ④ 自動車による登校は事故等の心配がありますので、公共交通機関をご利用ください。
- ⑤ 遅刻者の受験は原則として認めません。
※ 試験当日、事故等が発生した場合は、速やかに本学入試・広報センター〔052-411-1545〕まで連絡してください。
- ⑥ 受験票の裏面に「受験上の心得」が記載してあります。試験当日までに必ずよく読んでおいてください。
- ⑦ 受験場の下見を希望する場合は、本学入試・広報センターまで申し込んでください。
※ ただし、休日および入学試験の前日や当日には許可できません。
- ⑧ 試験期間中、受験生以外は試験会場への立ち入りはできません。保護者の方は控室にてお待ち願います。

■ 練習室、楽器の貸し出しについて

試験期間中、学内の練習室を無料で貸し出します。試験日当日に窓口にて申し込んでください。

なお、遠隔地からの受験生（試験日前日からの宿泊者）に限り、試験日前日（13:00～17:00）にも貸し出しを行いますので、希望者は事前に入試・広報センターまでお申し出ください。

ピアノ、電子オルガン、チューバ、コントラバス、ハーブ、マリンバ、箏、ドラムは本学のものが使用できます。

その他の楽器は各自持参してください。チューバ、コントラバスの受験生は、志願票・受験票等の楽器貸与欄に、楽器の貸与を「希望する・希望しない」のどちらかに○を付けてください。

■ 入試に関するお問い合わせ

名古屋音楽大学 入試・広報センター TEL 052-411-1545 直通 フリーダイヤル 0120-115-796

学部入学試験要項

【外国人留学生用】

■ 音楽学部 募集定員【1年次・2年次編入・3年次編入】

学科/定員	コース/専攻楽器
音楽学科 若干名	<ul style="list-style-type: none"> ●ピアノコース ●管楽コース/フルート、オーボエ、クラリネット、バス・クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、トロンボーン、バス・トロンボーン、ユーフォニアム、テューバ ●弦楽コース/ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ ●打楽コース/マリンバ、小太鼓 ●邦楽コース/箏、三味線、尺八 ●声楽コース ●舞踊・演劇・ミュージカルコース ●作曲・音楽クリエイションコース（1年次、2年次編入のみ） ●作曲コース（3年次編入のみ） ●映像音楽コース（3年次編入のみ） ●電子オルガンコース ●ジャズ・ポピュラーコース/ピアノ、ドラム、ベース、ギター、サクソフォーン、トランペット、トロンボーン、ヴォーカル ●音楽教育コース ●音楽療法コース ●音楽総合コース ●音楽ビジネスコース

■ 入学試験日程

出願期間	2018年10月1日（月） ～ 2018年11月7日（水） 郵送のみ・消印有効
1次選考	書類選考
1次選考発表	2018年11月16日（金） 発送
2次選考	2018年12月1日（土）
合格発表	2018年12月7日（金） 発送
入学手続期間	2018年12月10日（月）～12月25日（火） 一括納入

■ 選考方法

1次選考	書類審査	出願書類、並びに「日本留学試験」または「日本語能力試験」の成績 によって審査を行います。	
2 次 選 考	1年次 ・ 2年次編入	実技試験	コースにより課題が異なりますので確認をしてください。
		作文	音楽ビジネスコース志望者のみ
		面接	全コース
	3年次編入	実技試験	コースにより課題が異なりますので確認をしてください。
		小論文または作文	音楽教育、音楽療法、音楽ビジネスコース志望者のみ
		面接	全コース

入試区分と出願資格について

入試区分	出 願 資 格
1 年次入学	<p>以下の条件をすべて満たす者。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 日本国籍以外の国籍を有し、外国において学校教育における 12 年の課程を修了（見込み）の者、またはこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定した者。 (2) 「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の資格を有する者。または、大学入学後に「留学」の資格に変更可能な者。 (3) 入学後は本学学生と区別なく授業を受けるに足る日本語の能力を有する者。 (4) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験（日本語）」、または財団法人日本国際教育支援協会が実施する「日本語能力試験」を受験した者。
2 年次編入	<p>以下の条件をすべて満たす者。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 日本国籍以外の国籍を有する者。 (2) 次のいずれかの条件を満たす者。 <ul style="list-style-type: none"> ① 日本において 4 年制大学、短期大学を卒業した者、または、文部科学大臣の定める基準を満たす専修学校の専門課程（修業年限が 2 年以上、総授業時間数が 1,700 時間以上であるものに限る）を修了した者（学校教育法に規定する大学入学資格を有する者に限る）、および卒業もしくは修了見込みの者。 ② 日本において 4 年制大学の 1 年次を修了した者（一つの大学に 1 年以上在籍し、そこで 32 単位以上修得した者）、および 1 年次修了見込みの者。 (3) 「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の資格を有する者。または、大学入学後に「留学」の資格に変更可能な者。 (4) 入学後は本学学生と区別なく授業を受けるに足る日本語の能力を有する者。 (5) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験（日本語）」、または財団法人日本国際教育支援協会が実施する「日本語能力試験」を受験した者（ただし、日本の大学・短期大学に在籍した者を除く）。
3 年次編入	<p>以下の条件をすべて満たす者。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 日本国籍以外の国籍を有する者。 (2) 次のいずれかの条件を満たす者。 <ul style="list-style-type: none"> ① 日本において短期大学を卒業した者、または 2019 年 3 月までに卒業見込みの者。 ② 日本において 4 年制大学を卒業した者、または 2019 年 3 月までに卒業見込みの者。 ③ 日本において 4 年制大学の 2 年次を修了した者、または 2019 年 3 月までに修了見込み者（ただし、在学中に 62 単位以上を修得した者に限る）。 ④ 外国において、学校教育における 14 年以上の課程を修了した者および 2019 年 3 月までに卒業見込みの者。 (3) 「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の資格を有する者。または、大学入学後に「留学」の資格に変更可能な者。 (4) 入学後は本学学生と区別なく授業を受けるに足る日本語の能力を有する者。 (5) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験（日本語）」、または財団法人日本国際教育支援協会が実施する「日本語能力試験」を受験した者（ただし、日本の大学・短期大学に在籍した者を除く）。

■学費について（2018年度参考）

標準学納金

<音楽教育コース・音楽療法コース・音楽総合コース>

※2年次編入・3年次編入は、入学金免除

	入学金※	授業料	教育充実費	合計
入学手続時納付金	200,000円	500,000円	250,000円	950,000円
入学年度秋学期納付金		500,000円	250,000円	750,000円
初年度総合計	200,000円	1,000,000円	500,000円	1,700,000円

1メジャー（主専攻）・1サブマイナー（副科実技）を履修の上限とする。

<音楽ビジネスコースのみ>

※2年次編入・3年次編入は、入学金免除

	入学金※	授業料	教育充実費	合計
入学手続時納付金	200,000円	425,000円	250,000円	875,000円
入学年度秋学期納付金		425,000円	250,000円	675,000円
初年度総合計	200,000円	850,000円	500,000円	1,550,000円

1メジャー（主専攻）を履修の上限とする。

<上記以外のコース>

※2年次編入・3年次編入は、入学金免除

	入学金※	授業料	教育充実費	合計
入学手続時納付金	200,000円	650,000円	250,000円	1,100,000円
入学年度秋学期納付金		650,000円	250,000円	900,000円
初年度総合計	200,000円	1,300,000円	500,000円	2,000,000円

1メジャー（主専攻）・1マイナー（副専攻）・1サブマイナー（副科実技）を履修の上限とする。

※マイナー・サブマイナーの追加履修について

マイナー（副専攻）・サブマイナー（副科実技）を追加履修する場合には標準学納金に加えて下記の料金が必要となります。（入学後の選択履修となります）

- 1マイナー（副専攻）追加 年額 300,000円（半期 150,000円）
- 1サブマイナー（副科実技）追加 年額 150,000円（半期 75,000円）

●入学手続時納付金

- ①その他納付金として、雅売会（保護者後援会）入会金 10,000円（入学時のみ）、雅売会会費 1年次分 10,000円があります。
- ②入学手続きをされた後、2019年3月29日（金）13時までに入學辞退の申し出があった場合、入学金を除く納付金を返還いたします。

●入学年次秋学期納付金

- ①この学期から、学納金負担者の軽減を図るため、納付金の延期・分納等の取扱いをすることができます。
- ②2年目以降の年額納付額は音楽教育コース・音楽療法コース・音楽総合コースは 1,500,000円、音楽ビジネスコースは 1,350,000円、それ以外のコースは 1,800,000円となります。

●その他

教職課程履修者は、3年次に定められた課程費を納付していただきます。（2018年度は 18,000円程度）
 なお、中学校教諭免許状取得を希望する学生は、介護等体験が義務付けられ、体験費用として 8,000円が必要となります。

■ 出願書類

出願書類		1年次	2年次編入	3年次編入
①入学試験志願票	本学所定用紙（裏面に「⑧振込証明書」を貼付してください。）	○	○	○
②推薦書 ※1	12年の課程の最終学校長、または担当教員の推薦書を提出してください。	○	○	○
③受験票	本学所定用紙	○	○	○
④受験曲目記入票	本学所定用紙 ※受験曲目は必ず控え（コピー）をとっておいてください。	○	○	○
⑤パスポート・ビザコピー	氏名及び在留資格・在留期間・顔写真記載のページをコピーしてください。	○	○	○
⑥写真（2枚）	正面上半身、脱帽、背景なしで出願3ヶ月以内に撮影したもの（縦4cm×横3cm）を入学試験志願票・受験票の所定欄に貼付してください。	○	○	○
⑦受験返信用封筒	本学所定のものに自分の住所・氏名等を明記し、本学から自宅までの代金分の切手を貼付してください。	○	○	○
⑧振込証明書	入学試験志願書の裏面に貼付してください。	○	○	○
⑨最終出身学校の卒業（見込） 証明書 ※1	12年の課程の最終学校のもの ※2	○	○	○
⑩最終出身学校の成績証明書 ※1	12年の課程の最終学校のもの ※2	○	○	○
⑪「日本留学試験」または「日本語能力試験」の成績通知	成績通知書は原本（オリジナル）を提出してください。 原本は確認のうえ返却します。	○	○	○
⑫個人調書（履歴書）	本学所定用紙	—	○	○
⑬声楽・歌唱実技 ピアノ伴奏譜	提出楽譜は1ページをA4版（縦30cm×横21cm）の大きさの台紙に貼って、各ページが全開するように横一連に綴じてください。手書きの楽譜の場合は黒のペンまたはボールペンで正確に書いてください。	声楽・歌唱実技を受験する者		
⑭作曲・音楽クリエイション 実技提出作品	A:自作品の楽譜（コピー可）を同封すること。 B:制作した楽曲をオーディオCDで提出のこと。	作曲・音楽クリエイションコースを受験する者		
⑮映像音楽 実技提出作品	オーディオCDで提出のこと。	映像音楽コースを受験する者		
⑯作曲実技 提出作品	自作曲の楽譜（コピー可）を同封すること。	作曲コースを受験する者		
⑰ヤマハ音楽能力検定制度 エレクトーン演奏グレード 合格証書（コピー） ※3	電子オルガンコースの受験者のうち取得者のみ。 （実技試験の免除を希望する場合のみ。）	△	△	△
⑱ジャズ・ポピュラーコース音源	CDを用意すること。 マイナスイオン音源（CD）を使用して受験する者。	△	△	△

※1 ②⑨⑩の書類にはすべて日本語訳（訳者の署名入りのこと）を添えて提出してください。

※2 12年の課程以上の学歴を有している場合は、いずれの証明書も同封すること。

（例：大学卒業（見込または在学）の場合→高校卒業証明書・成績証明書 + 大学卒業（見込または在学）証明書・成績証明書）

※3 電子オルガンコースの受験者で、ヤマハ音楽能力検定制度エレクトーン演奏グレード取得者（2年次編入は5級、3年次編入は4級）は⑰を同封してください。実技試験が免除されます。

【注意事項】

○フリガナは本来の読みで記入してください。

○声楽または歌唱で受験する者は⑬を、映像・音楽クリエイションコースを受験する者は⑭を、映像音楽コースを受験する者は⑮を、作曲コースを受験する者は⑯を必ず同封してください。

○ジャズ・ポピュラーコースでマイナスイオン音源（CD）を使用して受験する者は⑱を同封してください。

○実技試験がある者は志望コース欄に実技名を記入してください。（ただし、ピアノコースと声楽コースを除く）

○出願書類に不正な記入をした場合は、入学許可後であっても合格の認定を取り消すことがあります。

○提出された書類・資料等は、原則として返却いたしません。

学部 1 年次入学試験 コース別試験課題

すべての実技試験において、演奏を途中で切る場合があります。

◆ピアノコース

①**実技** 次の課題曲 I、II を演奏する。※すべて暗譜で演奏のこと。繰り返しはしない。

【課題曲 I】 下記の曲①～⑧より任意の 1 曲を各自が選択し、演奏する。

番号	曲 目	作 曲 者
①	50 番練習曲 op.740	Czerny
②	60 番練習曲 op.365	Czerny
③	60 Etudes	Cramer=Bülow
④	Gradus ad Parnassum (Tausig 編)	Clementi
⑤	24 Studies for the piano op.70	Moscheles
⑥	15 Etudes op.72	Moszkowski
⑦	12 Etudes op.10	Chopin
⑧	12 Etudes op.25	Chopin

※⑦op.10 No.6 ⑧op.25 No.7を除く。

【課題曲 II】 任意のピアノ独奏曲 1 曲を演奏する。

※上記課題曲 I の①～⑧は除く。自作曲は除く。

◆管楽コース

①**実技** 任意の独奏曲または練習曲 1 曲を演奏する。

※伴奏はなし。楽譜は見てよい。

- | | |
|----------------------------|------------|
| ■フルート | ■ホルン |
| ■オーボエ | ■トランペット |
| ■クラリネット | ■トロンボーン |
| ■バス・クラリネット | ■バス・トロンボーン |
| ■ファゴット | ■ユーフォニアム |
| ■サクソフォーン (ソプラノ、テナー、バリトンも可) | ■チューバ |

◆弦楽コース

①**実技** ※伴奏はなし。

■ヴァイオリン ※いずれも暗譜で演奏すること。

(1) C.Flesh : Scale System より C dur No.5 を冒頭から 9 小節を演奏する。

- ・テンポ ♩=69 前後で演奏すること。
- ・ボウイングとフィンガリングは譜面どおり。
- ・Carl Fischer 版もしくは Ries & Erler / Berlin 版を使用すること。

(2) 任意の独奏曲 1 曲を演奏する。

・エチュード、自作曲は除く。

■ヴィオラ ※楽譜は見てよい。

(1) 音階：譜例 (P.33 参照) の通り音階を演奏する。

・任意の速度で演奏すること。

(2) 任意の独奏曲、または練習曲 1 曲を演奏する。

■チェロ ※楽譜は見てよい。

(1) 音階：譜例 (P.33 参照) の通り音階を演奏する。

・任意の速度で演奏すること。

(2) 任意の独奏曲、または練習曲 1 曲を演奏する。

■コントラバス ※楽譜は見てよい。

(1) 音階：譜例（P.33 参照）に従い、ホ長調、ヘ長調、ト長調より当日、本学が指定する音階を1つ演奏する。

・譜例のリズム型で演奏し、2オクターブ演奏すること。任意の速度で演奏すること。

(2) 任意の独奏曲、または練習曲1曲を演奏する。

■ハープ ※いずれも暗譜で演奏すること。繰り返しはしないこと。

(1) N.Ch.Bochsa の練習曲より任意の1曲を演奏する。

・Alphonse Leduc 社出版の楽譜を用いること。

(2) 任意の独奏曲1曲を演奏する。

◆打楽コース

①実技 ※伴奏はなし。

■マリンバ ※いずれも暗譜で演奏すること。

(1) Morris Goldenberg : Modern School for Xylophone.Marimba.Vibraphone (チャペル版) I、XII、XIII、XVII、XXIIより任意の1曲を各自が選択し、演奏する。

(2) 任意の独奏曲1曲を演奏する。

■小太鼓 ※楽譜は見てよい。

(1) 1つ打ち、2つ打ち、5つ打ち、7つ打ち、9つ打ちより、当日、本学が指定する。

(2) 任意の独奏曲または練習曲1曲を演奏する。

◆邦楽コース

①実技

■箏 (1) 唄を伴う任意の1曲を暗譜で演奏する。

■三味線（長唄三味線）

(1) 三代目 杵屋正治郎作曲「娘道成寺」（新合方）を暗譜で演奏する。

(2) 任意の1曲を演奏する。※楽譜は見てよい。

■尺八 一尺八寸管（D管）を使用のこと。流派は問わない。※楽譜は見てよい。

(1) 諸井誠「竹籟五章」より第一章（芬陀）を演奏する。

(2) 任意の独奏曲を2分程度演奏する。

◆声楽コース

①実技

任意の声楽曲2曲を演奏する。

※暗譜で歌うこと。

(1) 原語で歌うことが原則であるが、慣習的に認められている訳語は可。（例：歌劇「連隊の娘」をイタリア語で歌うなど）

(2) アリアは原調によるものとするが、慣習的に認められている移調は可。

（例：歌劇「セビリアの理髪師」から「今の歌声は」をヘ長調で歌うなど）

（注）ピアノ伴奏譜（P.6の③参照）を願書に添えて提出すること。伴奏者同伴の必要はなし。

◆舞踊・演劇・ミュージカルコース

①実技

次のいずれか1つを選び、受験すること。

■ジャズダンス

3分程度の自由曲を踊る。

・音楽（CD）は各自で用意すること。

・服装：レオタード、タイツ、ダンスシューズを着用すること。

■バレエ

クラシックバレエからヴァリエーション（3分程度）を踊る。

- ・音楽（CD）は各自で用意すること。
- ・服装：レオタード、タイツ、バレエシューズを着用すること。

■コンテンポラリーダンス（現代舞踊）

5～6分程度の自由曲を踊る。

テーマ：「私の夢」

- ・音楽（CD）は各自で用意すること。
- ・服装：レオタード、タイツを着用すること。

■日本舞踊

当日、試験官の指示に従い、5分程度踊る。

- ・服装：浴衣、半巾帯、足袋を着用すること。

■演技

5分以内の自由演技を行う。

（例：パントマイム、任意の台本等を読む、その他自由演技）

- ・服装：自由。

■歌唱

3分程度の自由曲1曲を演奏する。

（歌曲、オペラまたはオラトリオの aria、オペレッタ、ミュージカルのソロ曲、その他）

- ※暗譜で歌うこと。（注）ピアノ伴奏譜（P.6の⑬参照）を願書に添えて提出すること。伴奏者同伴の必要はなし。

◆作曲・音楽クリエイションコース

下記の A または B より選択して受験する。

A

① 実技

(1) 編成の違う自作品の楽譜(コピー可)を2曲提出する。

- ・出願書類に同封のこと。
- ・提出された楽譜は返却しない。

(2) 口頭試問

B

① 実技

(1) 出願時にコンピュータまたはシンセサイザー等により本人が制作した楽曲をオーディオ CD で提出する。

- ・出願書類に同封のこと。
- ・曲はオリジナル、編曲いずれでもよい。
- ・曲の長さは7分以内とする。
- ・提出作品には受験者の氏名、曲名を、編曲の場合は原曲の曲名、作曲者名も明記すること。

(2) 口頭試問

◆電子オルガンコース

①実技

ヤマハエレクトーン演奏グレード5級以上の楽曲、または、自作・自編の楽曲を1曲演奏する。

参考曲集例 新エレクトーン・レパートリー5級 Vol.1～Vol.3

※暗譜で演奏のこと。

- ・試験会場での使用機種は、YAMAHA ELS-02C, ELS-02X (バイタライズ), EL-900m, Roland AT-80S
- ・レジストレーションは自由。ただし、試験会場内での設定はできないので、あらかじめUSBフラッシュメモリー、フロッピーディスクなどで用意すること。
- ・MDRの使用範囲は、演奏データを含まないものとする。

ヤマハ音楽能力検定制度 エレクトーン演奏グレード5級取得者は実技試験が免除されます。

※上記のグレード5級取得者は、出願時に**合格証書のコピー**（P.6の㉗参照）を同封してください。

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

・クラシックに限る。出版されている曲のみ。

◆ジャズ・ポピュラーコース

①実技

- ピアノ
- ドラム
- ベース（アコースティック・エレクトリックを問わない）
- ギター（アコースティック・エレクトリックを問わない）
- サクソフォーン（ソプラノ・アルト・テナー・バリトンを問わない）
- トランペット
- トロンボーン

下記の(1)または(2)を選択し、演奏する。

(1) 任意の1曲を、マイナスイオン音源（CD）を使用し演奏する。

・マイナスイオン音源（CD）は各自用意し、願書に添えて提出すること。

(2) Moritat(Bertolt Brecht/Kurt Weill)を演奏する。

・楽譜および音源は、大学に請求してください。

請求先：名古屋音楽大学 入試・広報センター フリーダイヤル 0120-115-796

■ヴォーカル

任意の1曲を演奏する。

・演奏形態は次から選び、曲目記入欄に記すこと。【マイナスイオン音源（CD）、アカペラ、弾き歌い】

・マイナスイオン音源（CD）は各自で用意し、願書に添えて提出すること。

◆音楽教育コース

①実技

器楽または声楽のための任意の独奏（唱）曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。

- ・声楽で受験する場合、**ピアノ伴奏譜**（P.6の㉘参照）を願書に添えて提出すること。
- ・伴奏者同伴の必要はなし。
- ・管・弦・打・邦楽器で受験する場合、無伴奏で演奏すること。

◆音楽療法コース

①実技

器楽または声楽のための任意の独奏（唱）曲 1 曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。

- ・声楽で受験する場合、**ピアノ伴奏譜**（P.6 の㊸参照）を願書に添えて提出すること。
- ・伴奏者同伴の必要はなし。
- ・管・弦・打・邦楽器で受験する場合、無伴奏で演奏すること。

◆音楽総合コース

①実技

器楽または声楽のための任意の独奏（唱）曲 1 曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。

- ・声楽で受験する場合、**ピアノ伴奏譜**（P.6 の㊸参照）を願書に添えて提出すること。
- ・伴奏者同伴の必要はなし。
- ・管・弦・打・邦楽器で受験する場合、無伴奏で演奏すること。

◆音楽ビジネスコース

①作文

字数は 800 字程度（P.33 例題参照）。

試験時間は 90 分。

2年次編入学試験 コース別試験課題

すべての実技試験において、演奏を途中で切る場合があります。

◆ピアノコース

①**実技** 次の課題曲Ⅰ、Ⅱを演奏する。※すべて暗譜のこと。繰り返しはしない。

【課題曲Ⅰ】 下記の曲①～⑧より任意の1曲を各自が選択し、演奏する。

番号	曲 目	作 曲 者
①	50 番練習曲 op.740	Czerny
②	60 番練習曲 op.365	Czerny
③	60 Etudes	Cramer=Bülow
④	Gradus ad Parnassum (Tausig 編)	Clementi
⑤	24 Studies for the piano op.70	Moscheles
⑥	15 Etudes op.72	Moszkowski
⑦	12 Etudes op.10	Chopin
⑧	12 Etudes op.25	Chopin

※⑦op.10 No.6 ⑧op.25 No.7を除く。

【課題曲Ⅱ】 任意のピアノ独奏曲1曲を演奏する。

※上記課題曲Ⅰの①～⑧は除く。自作曲は除く。

◆管楽コース

①**実技**

任意の独奏曲または練習曲1曲を演奏する。

※伴奏はなし。楽譜は見てよい。

- フルート
- オーボエ
- クラリネット
- バス・クラリネット
- ファゴット
- サクソフォーン (ソプラノ、テナー、バリトンも可)
- ホルン
- トランペット
- トロンボーン
- バス・トロンボーン
- ユーフォニアム
- チューバ

②**副科ピアノ実技**

任意のピアノ独奏曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てよい。繰り返しはしないこと。

◆弦楽コース

①**実技** ※伴奏はなし。

■ヴァイオリン ※いずれも暗譜で演奏すること。

(1) C.Flesh : Scale System より C dur No.5 を冒頭から9小節を演奏する。

- ・テンポ ♩=69 前後で演奏すること。
- ・ボウイングとフィンガリングは譜面どおり。
- ・Carl Fischer 版もしくは Ries & Erler / Berlin 版を使用すること。

(2) 任意の独奏曲1曲を演奏する。

- ・エチュード、自作曲は除く。

■ ヴィオラ

※楽譜は見てよい。

- (1) 音階：譜例（P.33 参照）の通り音階を演奏する。
・任意の速度で演奏すること。
- (2) 任意の独奏曲、または練習曲 1 曲を演奏する。

■ チェロ

※楽譜は見てよい。

- (1) 音階：譜例（P.33 参照）の通り音階を演奏する。
・任意の速度で演奏すること。
- (2) 任意の独奏曲、または練習曲 1 曲を演奏する。

■ コントラバス

※楽譜は見てよい。

- (1) 音階：譜例（P.33 参照）に従い、ホ長調、ヘ長調、ト長調より当日、本学が指定する音階を 1 つ演奏する。
・譜例のリズム型で演奏し、2 オクターブ演奏すること。任意の速度で演奏すること。
- (2) 任意の独奏曲、または練習曲 1 曲を演奏する。

■ ハープ

※いずれも暗譜で演奏すること。繰り返しはしないこと。

- (1) N.Ch.Bochsa の練習曲より任意の 1 曲を演奏する。
・Alphonse Leduc 社出版の楽譜を用いること。
- (2) 任意の独奏曲 1 曲を演奏する。

② 副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲 1 曲を演奏する。

※楽譜は見てよい。繰り返しはしないこと。

◆ 打楽コース

① 実技

■ マリンバ

※いずれも暗譜で演奏すること。

- (1) Morris Goldenberg : Modern School for Xylophone.Marimba. Vibraphone (チャペル版) I、XII、XIII、XVII、XXII より任意の 1 曲を各自が選択し、演奏する。
- (2) 任意の独奏曲 1 曲を演奏する。

■ 小太鼓

※楽譜は見てよい。

- (1) 1つ打ち、2つ打ち、5つ打ち、7つ打ち、9つ打ちより、当日、本学が指定する。
- (2) 任意の独奏曲または練習曲 1 曲を演奏する。

② 副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲 1 曲を演奏する。

※楽譜は見てよい。繰り返しはしないこと。

◆ 邦楽コース

① 実技

■ 箏

- (1) 唄を伴う任意の 1 曲を暗譜で演奏する。

■ 三味線（長唄三味線）

- (1) 三代目 杵屋正治郎作曲「娘道成寺」（新合方）を暗譜で演奏する。
- (2) 任意の 1 曲を演奏する。※楽譜は見てよい。

■尺八 一尺八寸管（D管）を使用のこと。流派は問わない。※楽譜は見てもよい。

(1) 諸井誠「竹籟五章」より第一章（芬陀）を演奏する。

(2) 任意の独奏曲を2分程度演奏する。

◆ 声楽コース

① 実技

任意の声楽曲を3分程度演奏する。（1曲でなくてもよい。）

※暗譜で歌うこと。

(1) 原語で歌うことが原則であるが、慣習的に認められている訳語は可。（例：歌劇「連隊の娘」をイタリア語で歌うなど）

(2) アリアは原調によるものとするが、慣習的に認められている移調は可。

（例：歌劇「セビリアの理髪師」から「今の歌声は」をへ長調で歌うなど）

(注) **ピアノ伴奏譜**（P.6の③参照）を願書に添えて提出すること。伴奏者同伴の必要はなし。

② 副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

◆ 舞踊・演劇・ミュージカルコース

① 実技

次のいずれか1つを選び、受験すること。

■ ジャズダンス

3分程度の自由曲を踊る。

・音楽（CD）は各自で用意すること。

・服装：レオタード、タイツ、ダンスシューズを着用のこと。

■ バレエ

クラシックバレエからヴァリエーション（3分程度）を踊る。

・音楽（CD）は各自で用意すること。

・服装：レオタード、タイツ、バレエシューズを着用のこと。

■ コンテンポラリーダンス（現代舞踊）

5～6分程度の自由曲を踊る。

テーマ：「私の夢」

・音楽（CD）は各自で用意すること。

・服装：レオタード、タイツを着用のこと。

■ 日本舞踊

当日、試験官の指示に従い、5分程度踊る。

・服装：浴衣、半巾帯、足袋を着用のこと。

■ 演技

5分以内の自由演技を行う。

（例：パントマイム、任意の台本等を読む、その他自由演技）

・服装：自由。

■ 歌唱

3分程度の自由曲1曲を演奏する。

（歌曲、オペラまたはオラトリオのアリア、オペレッタ、ミュージカルのソロ曲、その他）

※暗譜で歌うこと。

(注) **ピアノ伴奏譜**（P.6の③参照）を願書に添えて提出すること。伴奏者同伴の必要はなし。

◆作曲・音楽クリエイションコース

下記の A または B より選択して受験する。

A

② 実技

(1) 編成の違う自作品の楽譜(コピー可)を 2 曲提出する。

- ・出願書類に同封のこと。
- ・提出された楽譜は返却しない。

(2) 口頭試問

B

② 実技

(1) 出願時にコンピュータまたはシンセサイザー等により本人が制作した楽曲をオーディオ CD で提出する。

- ・出願書類に同封のこと。
- ・曲はオリジナル、編曲いずれでもよい。
- ・曲の長さは 7 分以内とする。
- ・提出作品には受験者の氏名、曲名を、編曲の場合は原曲の曲名、作曲者名も明記すること。

(2) 口頭試問

◆電子オルガンコース

①実技

ヤマハエレクトーン 5 級以上の楽曲、または、自作・自編の楽曲を、1 曲演奏する。

参考曲集例 新エレクトーン・レパートリー 5 級 Vol.1～Vol.3

- ※暗譜で演奏のこと。
- ・試験会場での使用機種は、YAMAHA ELS-02C, ELS-02X (バイトライズ), EL-900m, Roland AT-80S
- ・レジストレーションは自由。ただし、試験会場内での設定はできないので、あらかじめ USB フラッシュメモリー、フロッピーディスクなどで用意すること。
- ・MDR の使用範囲は、演奏データを含まないものとする。

ヤマハ音楽能力検定制度 エレクトーン演奏グレード 5 級取得者は実技試験が免除されます。

※上記のグレード 5 級取得者は、出願時に合格証書のコピー (P.6 の⑰参照) を同封してください。

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲 1 曲を演奏する。

- ※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。
- ・クラシックに限る。出版されている曲のみ。

◆ ジャズ・ポピュラーコース

①実技

- ピアノ
- ドラム
- ベース（アコースティック・エレクトリックを問わない）
- ギター（アコースティック・エレクトリックを問わない）
- サクソフォーン（ソプラノ・アルト・テナー・バリトンを問わない）
- トランペット
- トロンボーン

下記の（1）または（2）を選択し、演奏する。

（1）任意の1曲を、マイナスイオン音源（CD）を使用し演奏する。

・マイナスイオン音源（CD）は各自用意すること。

（2）Moritat(Bertolt Brecht/Kurt Weill)を演奏する。

・楽譜および音源は、大学に請求してください。

請求先：名古屋音楽大学 入試・広報センター フリーダイヤル 0120-115-796

■ヴォーカル

任意の1曲を演奏する。

・演奏形態は次から選び、曲目記入欄に記すこと。【マイナスイオン音源（CD）、アカペラ、弾き歌い】

・マイナスイオン音源（CD）は各自で用意し、願書に添えて提出すること。

◆ 音楽教育コース

①実技

器楽または声楽のための任意の独奏（唱）曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。

・声楽で受験する場合、**ピアノ伴奏楽譜**（P.6の⑩参照）を願書に添えて提出すること。

・伴奏者同伴の必要はなし。

・管・弦・打・邦楽器で受験する場合、無伴奏で演奏すること。

◆ 音楽療法コース

①実技

器楽または声楽のための任意の独奏（唱）曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。

・声楽で受験する場合、**ピアノ伴奏楽譜**（P.6の⑩参照）を願書に添えて提出すること。

・伴奏者同伴の必要はなし。

・管・弦・打・邦楽器で受験する場合、無伴奏で演奏すること。

◆ 音楽総合コース

①実技

器楽または声楽のための任意の独奏（唱）曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。

・声楽で受験する場合、**ピアノ伴奏楽譜**（P.6の⑩参照）を願書に添えて提出すること。

・伴奏者同伴の必要はなし。

・管・弦・打・邦楽器で受験する場合、無伴奏で演奏すること。

◆ 音楽ビジネスコース

①作文

字数は800字程度。（P.33例題参照）試験時間は90分。

3年次編入学試験 コース別試験課題

すべての実技試験において、演奏を途中で切る場合があります。

◆ピアノコース

①実技

任意の独奏曲 1 曲を演奏する。

※暗譜で演奏すること。

◆管楽コース

①実技

任意の独奏曲または練習曲 1 曲を演奏する。

※伴奏はなし。楽譜は見てもよい。

- | | |
|---------------------------|------------|
| ■フルート | ■ホルン |
| ■オーボエ | ■トランペット |
| ■クラリネット | ■トロンボーン |
| ■バス・クラリネット | ■バス・トロンボーン |
| ■ファゴット | ■ユーフォニアム |
| ■サクソフォーン（ソプラノ、テナー、バリトンも可） | ■チューバ |

◆弦楽コース

①実技

※伴奏はなし。

■ヴァイオリン ※いずれも暗譜で演奏すること。

(1) C.Flesh : Scale System より C dur No.5 を冒頭から 9 小節を演奏する。

・テンポ ♩ = 69 前後で演奏すること。

・ボウイングとフィンガリングは譜面どおり。

・Carl Fischer 版もしくは Ries & Erler / Berlin 版を使用すること。

(2) 任意の独奏曲 1 曲を演奏する。

・エチュード、自作曲は除く。

■ヴィオラ (1) 任意の独奏曲 1 曲を暗譜で演奏する。

■チェロ (1) 任意の独奏曲 1 曲を暗譜で演奏する。

■コントラバス (1) 任意の独奏曲 1 曲を暗譜で演奏する。

■ハープ ※いずれも暗譜で演奏すること。繰り返しはしないこと。

(1) 任意の独奏曲 1 曲を演奏する。

(2) N.Ch.Bochsa の練習曲より任意の 1 曲を演奏する。

・Alphonse Leduc 社出版の楽譜を用いること。

◆打楽コース

①実技

※伴奏はなし。

■マリンバ ※いずれも暗譜で演奏すること。

(1) Morris Goldenberg : Modern School for Xylophone. Marimba.

Vibraphone (チャペル版) I、XII、XIII、XVII、XXII より

任意の 1 曲を各自が選択し、演奏する。

(2) 任意の独奏曲 1 曲を演奏する。

■小太鼓 ※楽譜は見てよい。

- (1) 1つ打ち、2つ打ち、5つ打ち、7つ打ち、9つ打ちより、当日、本学が指定する。
- (2) 任意の独奏曲または練習曲1曲を演奏する。

◆邦楽コース

①実技

- 箏 (1) 吉沢検校作曲 松阪検校補作「秋の曲（本手）」を暗譜で演奏する。
- 三味線（長唄三味線）
(1) 任意の1曲を演奏する。※楽譜は見てよい。
- 尺八 一尺八寸管（D管）を使用のこと。流派は問わない。
(1) 任意の1曲を演奏する。※楽譜は見てよい。

◆声楽コース

①実技

任意の声楽曲を4分程度演奏する。（1曲でなくてもよい。）

※暗譜で歌うこと。

- ・原語で歌うことが原則であるが、慣習的に認められている訳語は可。（例：歌劇「連隊の娘」をイタリア語で歌うなど）
- ・アリアは原調によるものとするが、慣習的に認められている移調は可。
（例：歌劇「セビリアの理髪師」から「今の歌声は」をへ長調で歌うなど）

(注)ピアノ伴奏譜（P.6の⑩参照）を願書に添えて提出すること。伴奏者同伴の必要はなし。

◆舞踊・演劇・ミュージカルコース

①実技

次のいずれか1つを選び、受験すること。

■ジャズダンス

3分程度の自由曲を踊る。

- ・音楽（CD）は各自で用意すること。
- ・服装：レオタード、タイツ、ダンスシューズを着用のこと。

■バレエ

クラシックバレエからヴァリエーション（3分程度）を踊る。

- ・音楽（CD）は各自で用意すること。
- ・服装：レオタード、タイツ、バレエシューズを着用のこと。

■コンテンポラリーダンス（現代舞踊）

5～6分程度の自由曲を踊る。

テーマ：「私の夢」

- ・音楽（CD）は各自で用意すること。
- ・服装：レオタード、タイツを着用のこと。

■日本舞踊

当日、試験官の指示に従い、5分程度踊る。

- ・服装：浴衣、半巾帯、足袋を着用のこと。

■演技

(1) 自由課題：5分以内の自由演技を行う。

（例：パントマイム、任意の台本を読む、その他自由演技）

- ・服装：自由。

(2) 事前課題：願書提出後、本学より課題を送ります。

②歌 唱

自由曲 1 曲を演奏する。

(歌曲、オペラまたはオラトリオのアリア、オペレッタ、ミュージカルのソロ曲、その他)

※暗譜で歌うこと。

(注) **ピアノ伴奏譜** (P.6 の⑬参照) を願書に添えて提出すること。伴奏者同伴の必要はなし。

◆作曲コース

①実技

(1) 編成の違う自作品の楽譜 (コピー可) を 2 曲提出する。

- ・出願書類に同封のこと。
- ・提出された楽譜は返却しない。

(2) 口頭試問

◆映像音楽コース

①実技

(1) 出願時にコンピュータまたはシンセサイザー等により本人が制作した楽曲を、オーディオ CD で提出する。

- ・曲はオリジナル、編曲いづれでもよい。
- ・8 パート以上、4 分以上の構成とする。
- ・提出作品には受験者の氏名、曲名を、編曲の場合は原曲の曲名、作曲者名も明記すること。

(2) 口頭試問

②任意楽器演奏

任意の独奏曲 1 曲を演奏する。

- ※楽譜は見てよい。
- ・あらかじめ楽器名と曲目を提出すること。
- (本学にない楽器の場合は受験者が持ち込むことになります。)

◆電子オルガンコース

①実技

任意の独奏曲 1 曲を演奏する。

- ※暗譜で演奏すること。
- ・試験場での使用機種は、YAMAHA STAGEA ELS-02C, ELS-02X(バイタライズ), EL-900m, Roland AT-80S。
- ・レジストレーションは自由。ただし、試験場内での設定はできないので、あらかじめ USB フラッシュメモリー、フロッピーディスクなどで用意すること。
- ・M D R の使用範囲は演奏データを含まないものとする。

ヤマハ音楽能力検定制度 エレクトーン演奏グレード 4 級取得者は実技試験が免除されます。

※上記のグレード 4 級取得者は、出願時に**合格証書のコピー** (P.6 の⑰参照) を同封してください。

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲 1 曲を演奏する。

- ※楽譜は見てよい。繰り返しはしないこと。
- ・クラシックに限る。出版されている曲のみ。

◆ジャズ・ポピュラーコース

①実技

- ピアノ
- ドラム
- ベース (アコースティック・エレクトリックを問わない)

- ギター（アコースティック・エレクトリックを問わない）
- サクソフォーン（ソプラノ・アルト・テナー・バリトンを問わない）
- トランペット
- トロンボーン

下記の(1)または(2)を選択し、演奏する。

(1) 任意の1曲を、マイナスイオン音源（CD）を使用し演奏する。

・マイナスイオン音源（CD）は各自用意すること。

(2) Moritat(Bertolt Brecht/Kurt Weill)を演奏する。

・楽譜および音源は、大学に請求してください。

請求先：名古屋音楽大学 入試・広報センター フリーダイヤル 0120-115-796

■ヴォーカル

任意の1曲を、マイナスイオン音源（CD）を使用し演奏する。

・マイナスイオン音源（CD）は各自用意すること。

◆音楽教育コース

①実技

器楽または声楽のための任意の独奏（唱）曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てよい。

- ・声楽で受験する場合、**ピアノ伴奏譜**（P.6の⑩参照）を願書に添えて提出すること。
- ・伴奏者同伴の必要はなし。
- ・管・弦・打・邦楽器で受験する場合、無伴奏で演奏すること。

②小論文

字数は1000字程度（P.33例題参照） 試験時間は90分。

◆音楽療法コース

①実技

器楽または声楽のための任意の独奏（唱）曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てよい。

- ・声楽で受験する場合、**ピアノ伴奏譜**（P.6の⑩参照）を願書に添えて提出すること。
- ・伴奏者同伴の必要はなし。
- ・管・弦・打・邦楽器で受験する場合、無伴奏で演奏すること。

②小論文

字数は1000字から1400字程度（P.33例題参照） 試験時間は90分。

◆音楽総合コース

①実技

器楽または声楽のための任意の独奏（唱）曲1曲を演奏する。

※暗譜で演奏すること。

- ・声楽で受験する場合、**ピアノ伴奏譜**（P.6の⑩参照）を願書に添えて提出すること。
- ・伴奏者同伴の必要はなし。
- ・管・弦・打・邦楽器で受験する場合、無伴奏で演奏すること。

◆音楽ビジネスコース

①作文

字数は800字程度（P.33例題参照） 試験時間は90分。

大学院 音楽研究科 入学試験要項

■ 募集定員

音楽研究科	器楽専攻〔ピアノ・オルガン・チェンバロ・弦楽・管楽・打楽・邦楽・ジャズ（ヴォーカル以外）〕	若干名
	声楽専攻〔声楽・ジャズ（ヴォーカル）〕	若干名
	作曲専攻〔作曲・映像音楽・電子オルガン〕	若干名
	音楽教育学専攻〔音楽教育学・音楽学・音楽療法〕	若干名

■ 出願資格

以下の条件を満たす者。

- (1) 日本国籍以外の国籍を有する者。
- (2) 次のいずれかの条件を満たす者。
 - ① 日本において、大学を卒業した者、または2019年3月31日までに卒業見込みの者。
 - ② 外国において、学校教育における16年以上の課程を修了した者及び2019年3月31日までに修了見込みの者。
 - ③ その他本学において、上記の者と同等以上の学力があると認められた者。
- (3) 「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の資格を有する者。または、大学入学後に「留学」の資格に変更可能な者。
- (4) 入学後は本学学生と区別なく授業を受けるに足る日本語の能力を有する者。
- (5) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験（日本語）」、または財団法人日本国際教育支援協会が実施する「日本語能力試験」を受験した者。（ただし、日本の大学・短期大学に在籍した者を除く。）

■ 入学試験日程

	器楽・声楽・作曲（電子オルガン）・音楽教育学専攻	作曲専攻（作曲・映像音楽）
出願期間	2018年10月1日（月）～11月7日（水） 郵送（書留速達）・消印有効	
1次選考	書類選考	
1次選考発表	2018年11月16日（金） 発送	
2次選考	2018年12月1日（土）専攻科目試験・面接	作品提出 2018年11月19日（月）～11月27日（火）
合格発表	2018年12月7日（金） 発送 本人宛に通知を発送します。 ※電話による問い合わせには一切応じません。	
入学手続	2018年12月10日（月）～12月25日（火） 一括納入 ※期間内に手続きを完了したものに入学を許可します。 ※手続きの方法等については合格発表時に明示します。	

■ 選考方法

1次選考	書類審査… 出願書類、並びに「日本留学試験」または「日本語能力試験」の成績によって審査を行います。	
2次選考	試験科目	専攻により課題が異なりますので確認をしてください。（P.23～25 参照）
	面接	全専攻

出願書類

①入学試験志願票	本学所定用紙（裏面に「⑧振込証明書」を貼付してください。）
②推薦書 ※1	出身大学の学長（学校長）または担当教員が作成した推薦書を提出してください。
③受験票	本学所定用紙
④受験曲目記入票	本学所定用紙 ※受験曲目は必ず控え（コピー）をとっておいてください。
⑤パスポート・ビザコピー	氏名及び在留資格・在留期間・顔写真記載のページをコピーしてください。
⑥写真（2枚）	正面上半身、脱帽、背景なしで出願3ヶ月以内に撮影したもの（縦4cm×横3cm）を 入学試験志願票・受験票の所定欄に貼付してください。
⑦受験返信用封筒	本学所定のものに自分の住所・氏名等を明記し、本学から自宅までの代金分の切手を貼付してください。
⑧振込証明書	入学試験志願書の裏面に貼付してください。
⑨最終出身学校の卒業（見込） 証明書 ※1	出身大学の学長（学校長）または学部長が作成したもの。 ※2
⑩最終出身学校の成績証明書または 単位取得（見込）証明書 ※1	出身大学の学長（学校長）または学部長が作成したもの。 ※2
⑪「日本留学試験」または 「日本語能力試験」の成績通知	成績通知書は原本（オリジナル）を提出してください。 原本は確認のうえ返却します。
⑫個人調書（履歴書）	本学所定用紙
⑬研究計画書 （音楽教育学専攻志望者のみ）	本学所定用紙
⑭受験許可書	様式は任意。在職者・他大学院に在籍中の者のみ提出してください。
⑮ジャズ・マイナスイオン音源(CD)・楽譜	マイナスイオン音源を使用して受験する者はCD、セッションする者は楽譜を提出してください。

※1 ②⑨⑩の書類にはすべて日本語訳（訳者の署名入りのこと）を添えて提出してください。

※2 本学卒業（見込）生に限り、⑨、⑩は不要です。

【注意事項】

- フリガナは本来の読みで記入してください。
- 出願書類に不正な記入をした場合は、入学許可後であっても合格の認定を取り消すことがあります。
- 提出された書類・資料等は、原則として返却いたしません。

■ 専門試験科目

専攻		試験科目の概要および課題曲
器 楽	ピアノ	<p>下記の課題を演奏する。(1)、(2)の合計時間が20分以上であること。</p> <p>(1) Etude Chopin op.10 (No.3、No.6を除く) op.25 (No.7を除く) Prokofiev、Liszt、Rachmaninov、Debussy、Scriabin から任意の1曲</p> <p>(2) 自由曲 複数作品、複数作曲家可。 ※繰り返しはしない。ただし Beethoven : Sonata の D.C. はあり。 ※いずれも暗譜で演奏のこと。</p>
	オルガン	<p>下記(1)及び(2)のいずれかを演奏する。</p> <p>(1) パイプオルガンのみで以下の3曲を20分程度のプログラムにまとめて演奏する。(楽譜は見てよい) J. S. Bach「ベダル付きのコーラル作品」より任意の1曲 J. S. Bach「プレリュードとフーガ」より任意の1曲 19世紀以降の任意の小品1曲</p> <p>(2) パイプオルガンとピアノの両方を使用し、以下の3～4曲を20分程度のプログラムにまとめて演奏する。 *オルガン演奏(楽譜は見てよい) J. S. Bach「ベダル付きのコーラル作品」より任意の1～2曲 *ピアノ演奏(暗譜で演奏のこと) J. S. Bach「平均律クラヴィーア曲集」第1巻、第2巻より任意のフーガを1曲 F. Chopin「エチュード」より任意の1曲 ※オルガンは試験前に試奏できる。 ※アシスタントを必要とする場合は事前に申し出ること。</p>
	チェンバロ	<p>下記課題(1)、(2)より各々1曲を選択し、演奏する。及び(3)を演奏する。</p> <p>(1) L. Couperin Prélude à l'imitation de Mr Froberger Passacaille in c Passacaille in g</p> <p>(2) J. S. Bach Partita 4 BWV828 (Ouverture, Allemande, Gigue) Französische Ouverture BWV831 (Ouverture, Bourrée I & II, Echo)</p> <p>(3) 通奏低音(数字付き低音)の実演。 課題は当日、配布する。 ※繰り返しはしない。ただしロンド形式や舞曲での D.C. はあり。 ※譜面を見て弾くこと。</p>
	弦 楽	<p>ヴァイオリン ヴィオラ チェロ コントラバス ハーブ クラシックギター マンドリン</p> <p>下記を演奏する。 任意の独奏曲(ソナタを含む) 1曲を演奏すること。 ※暗譜で演奏のこと。 ※繰り返しはしない。 ※伴奏者は同伴のこと。</p>
	管 楽	<p>フルート オーボエ クラリネット バス・クラリネット ファゴット サクソフォーン ホルン トランペット トロンボーン バス・トロンボーン ユーフォニアム テューバ</p> <p>下記を演奏する。 任意の独奏曲を20分程度演奏すること。 ※曲数は複数曲になってもよい。 ※楽譜は見てよい。 ※伴奏者は同伴のこと。</p>

専攻		試験科目の概要および課題曲
打 楽	マリンバ	下記を演奏する。 任意の独奏曲 1 曲を全曲演奏すること。 ※暗譜で演奏のこと。 ※伴奏者は同伴のこと。
	パーカッション	下記を演奏する。 任意の独奏曲 1 曲を全曲演奏すること。 ※楽譜は見てよい。 ※伴奏者は同伴のこと。 ※楽譜を提出のこと。
邦 楽	箏曲	下記の課題を演奏すること。ただし、箏、三絃のどちらでも可。 「萩の露」 ※暗譜で演奏のこと。
	尺八	下記の課題 (1)、(2)、(3)、(4) より 1 曲を選択し、演奏すること。 (1)「古典本曲 神保三谷」…神保政之助 撰 (2)「都山流本曲 岩清水」…作曲 中尾都山 (初代) (3)「無伴奏尺八組曲 第二番」…作曲 唯是震一 (4)「独奏尺八の為の 月の光の神があたもの影の上をいく」…作曲 岡田京子 ※楽譜は見てよい。
器 楽	ピアノ ベース ギター サクソフォーン トランペット トロンボーン	下記の課題曲 (1)、(2) を演奏すること。 (1) ジャズスタンダードの中から、任意の 1 曲を選択し、ソロ、または、受験者が用意した マイナスワンプ音源 (CD) をバックに演奏する。 講師とのセッションも可能 (応相談)。 (2) キーが F か B♭ のブルースを講師とセッションする。 ※事前に曲目、楽譜、使用する場合はマイナスワンプ音源 (CD) を提出すること。
	ドラム	下記の課題曲 (1)、(2) を演奏すること。 (1) ジャズスタンダードの中から、任意の 1 曲を選択し、ソロ、または、受験者が用意した マイナスワンプ音源 (CD) をバックに演奏する。 講師とのセッションも可能 (応相談)。 (2) ジャズスタンダードの中から、任意の 1 曲を選択し、ピアノとベースの講師とトリオ形式で セッションする。 ※事前に曲目、楽譜、使用する場合はマイナスワンプ音源 (CD) を提出すること。
声 楽	声 楽	下記の課題曲 (1)、(2) を計 10 分程度演奏すること。 (1) 歌曲 (原語で演奏すること) (2) オペラまたはオラトリオよりアリア、またはそれに準ずる作品 (原語・原調で演奏すること) ※ (2) において慣習的に行われるものはよい。 〔例〕「ルサルカ」「売られた花嫁」等のドイツ語歌唱、「セヴィリアの理髪師」から 「今の歌声は」をへ長調で歌うなど。 ※曲数は (1)、(2) においてそれぞれ複数曲になってもよい。 ※いずれも暗譜で演奏のこと。 ※伴奏者は同伴のこと。
	ジャズ	ヴォーカル

専攻		試験科目の概要および課題曲
作曲	作曲	<p>1. 作品提出 自作品を8重奏以上のアンサンブルからオーケストラ作品まで1曲を期日までに提出すること。</p> <p>2. 口頭試問 提出された作品についての口頭試問を行う。</p>
	映像音楽	<p>1. 作品提出 任意のシーケンスソフトを用いて制作した自作曲または、自編曲を提出すること。 ※曲の長さは5分以上 ※オーディオCDにより提出すること。 ※使用ソフト及び機器を詳記した資料を添付すること。</p> <p>2. 口頭試問 提出された作品について口頭試問を行う。</p>
	電子オルガン	<p>1. 任意の独奏曲1曲を演奏すること。(自作曲または、自編曲に限る) ※暗譜で演奏のこと。 ※当日、楽譜を提出すること。</p> <p>2. 当日提示されたモチーフを32小節程度に発展し演奏する。(予見時間10分、試弾は不可)</p>
音楽教育学		<p>1. 研究計画書の提出 専門分野に関する、入学後の研究計画書(400字詰原稿用紙5枚以上、書式は自由)を提出する。</p> <p>2. 筆記試験 音楽教育学・音楽学・音楽療法に関する小論文(2時間)</p> <p>3. 実技演奏 任意楽器による独奏曲の演奏、または任意の独唱曲を演奏する。 ※あらかじめ楽器名と曲名を提出すること。 (楽器は原則として本人の持込みとする。ただし大型の楽器等については本学に問い合わせること) ※演奏時間は5分程度とする。 ※楽譜は見てもよい。 ※伴奏者は同伴のこと。</p> <p>4. 口頭試問 提出された研究計画書を中心に、入学後の研究計画等についての口頭試問を行う。</p>

■授業科目一覧（2018年参考）

●専門教育科目 器楽専攻(ピアノ)

授業科目名	単位数		備考
	必修	選択必修	
ピアノ演奏研究Ⅰ	2		22単位
ピアノ演奏研究Ⅱ	2		
ピアノ演奏研究Ⅲ	2		
ピアノ演奏研究Ⅳ	2		
学内リサイタル	2		
ピアノ作品研究AⅠ	2		
ピアノ作品研究AⅡ	2		
ピアノ作品研究AⅢ	2		
ピアノ作品研究AⅣ	2		
ピアノ作品研究BⅠ	2		
ピアノ作品研究BⅡ	2		8単位以上
ピアノ作品研究BⅢ		2	
ピアノ作品研究BⅣ		2	
ピアノ特殊研究A		2	
ピアノ特殊研究B		2	
ピアノ特殊研究C		2	
ピアノ特殊研究D		2	
ピアノ特殊研究E		2	
ピアノ特殊研究F		2	
ピアノ特殊研究G		2	
ピアノ特殊研究H		2	
ピアノ合奏演習Ⅰ		2	
ピアノ合奏演習Ⅱ		2	
ピアノ合奏演習Ⅲ		2	
ピアノ合奏演習Ⅳ		2	
歌曲伴奏研究Ⅰ		2	
歌曲伴奏研究Ⅱ		2	
歌曲伴奏研究Ⅲ		2	
歌曲伴奏研究Ⅳ		2	

●専門教育科目 器楽専攻(オルガン)

授業科目名	単位数		備考
	必修	選択必修	
オルガン演奏研究Ⅰ	2		18単位
オルガン演奏研究Ⅱ	2		
オルガン演奏研究Ⅲ	2		
オルガン演奏研究Ⅳ	2		
学内リサイタル	2		
オルガン作品研究Ⅰ	2		
オルガン作品研究Ⅱ	2		
オルガン作品研究Ⅲ	2		
オルガン作品研究Ⅳ	2		
オルガン特殊研究Ⅰ		2	
オルガン特殊研究Ⅱ		2	8単位以上
オルガン特殊研究Ⅲ		2	
オルガン特殊研究Ⅳ		2	
バロックアンサンブル演習Ⅰ		2	
バロックアンサンブル演習Ⅱ		2	
バロックアンサンブル演習Ⅲ		2	
バロックアンサンブル演習Ⅳ		2	

●専門教育科目 器楽専攻(チェンバロ)

授業科目名	単位数		備考
	必修	選択必修	
チェンバロ演奏研究Ⅰ	2		18単位
チェンバロ演奏研究Ⅱ	2		
チェンバロ演奏研究Ⅲ	2		
チェンバロ演奏研究Ⅳ	2		
学内リサイタル	2		
チェンバロ作品研究Ⅰ	2		
チェンバロ作品研究Ⅱ	2		
チェンバロ作品研究Ⅲ	2		
チェンバロ作品研究Ⅳ	2		
チェンバロ特殊研究Ⅰ		2	
チェンバロ特殊研究Ⅱ		2	8単位以上
チェンバロ特殊研究Ⅲ		2	
チェンバロ特殊研究Ⅳ		2	
バロックアンサンブル演習Ⅰ		2	
バロックアンサンブル演習Ⅱ		2	
バロックアンサンブル演習Ⅲ		2	
バロックアンサンブル演習Ⅳ		2	

●専門教育科目 器楽専攻(弦楽)

授業科目名	単位数		備考
	必修	選択必修	
弦楽演奏研究Ⅰ	2		18単位
弦楽演奏研究Ⅱ	2		
弦楽演奏研究Ⅲ	2		
弦楽演奏研究Ⅳ	2		
学内リサイタル	2		
弦楽作品研究Ⅰ	2		
弦楽作品研究Ⅱ	2		
弦楽作品研究Ⅲ	2		
弦楽作品研究Ⅳ	2		
弦楽特殊研究Ⅰ		2	
弦楽特殊研究Ⅱ		2	8単位以上
弦楽特殊研究Ⅲ		2	
弦楽特殊研究Ⅳ		2	
弦楽合奏演習Ⅰ		2	
弦楽合奏演習Ⅱ		2	
弦楽合奏演習Ⅲ		2	
弦楽合奏演習Ⅳ		2	

●専門教育科目 器楽専攻(管楽)

授業科目名	単位数		備考
	必修	選択必修	
管 楽 演 奏 研 究 I	2		18単位
管 楽 演 奏 研 究 II	2		
管 楽 演 奏 研 究 III	2		
管 楽 演 奏 研 究 IV	2		
学 内 リ サ イ タ ル	2		
管 楽 作 品 研 究 I	2		
管 楽 作 品 研 究 II	2		
管 楽 作 品 研 究 III	2		
管 楽 作 品 研 究 IV	2		
管 楽 特 殊 研 究 I		2	
管 楽 特 殊 研 究 II		2	
管 楽 特 殊 研 究 III		2	
管 楽 特 殊 研 究 IV		2	
管 楽 合 奏 演 習 I		2	
管 楽 合 奏 演 習 II		2	
管 楽 合 奏 演 習 III		2	
管 楽 合 奏 演 習 IV		2	

●専門教育科目 器楽専攻(邦楽)

授業科目名	単位数		備考
	必修	選択必修	
邦 楽 演 奏 研 究 I	2		18単位
邦 楽 演 奏 研 究 II	2		
邦 楽 演 奏 研 究 III	2		
邦 楽 演 奏 研 究 IV	2		
学 内 リ サ イ タ ル	2		
邦 楽 作 品 研 究 I	2		
邦 楽 作 品 研 究 II	2		
邦 楽 作 品 研 究 III	2		
邦 楽 作 品 研 究 IV	2		
邦 楽 特 殊 研 究 I		2	
邦 楽 特 殊 研 究 II		2	
邦 楽 特 殊 研 究 III		2	
邦 楽 特 殊 研 究 IV		2	
邦 楽 合 奏 演 習 I		2	
邦 楽 合 奏 演 習 II		2	
邦 楽 合 奏 演 習 III		2	
邦 楽 合 奏 演 習 IV		2	

●専門教育科目 器楽専攻(打楽)

授業科目名	単位数		備考
	必修	選択必修	
打 楽 演 奏 研 究 I	2		18単位
打 楽 演 奏 研 究 II	2		
打 楽 演 奏 研 究 III	2		
打 楽 演 奏 研 究 IV	2		
学 内 リ サ イ タ ル	2		
打 楽 作 品 研 究 I	2		
打 楽 作 品 研 究 II	2		
打 楽 作 品 研 究 III	2		
打 楽 作 品 研 究 IV	2		
打 楽 特 殊 研 究 I		2	
打 楽 特 殊 研 究 II		2	
打 楽 特 殊 研 究 III		2	
打 楽 特 殊 研 究 IV		2	
打 楽 合 奏 演 習 I		2	
打 楽 合 奏 演 習 II		2	
打 楽 合 奏 演 習 III		2	
打 楽 合 奏 演 習 IV		2	

●専門教育科目 器楽専攻(ジャズ/ヴォーカル以外)

授業科目名	単位数		備考
	必修	選択必修	
ジ ャ ズ 演 奏 研 究 I	2		18単位
ジ ャ ズ 演 奏 研 究 II	2		
ジ ャ ズ 演 奏 研 究 III	2		
ジ ャ ズ 演 奏 研 究 IV	2		
学 内 リ サ イ タ ル	2		
ジ ャ ズ ア ン サ ン プ ル 演 習 I	2		
ジ ャ ズ ア ン サ ン プ ル 演 習 II	2		
ジ ャ ズ ア ン サ ン プ ル 演 習 III	2		
ジ ャ ズ ア ン サ ン プ ル 演 習 IV	2		
ジ ャ ズ 特 殊 研 究 I		2	
ジ ャ ズ 特 殊 研 究 II		2	
ジ ャ ズ 特 殊 研 究 III		2	
ジ ャ ズ 特 殊 研 究 IV		2	
ジ ャ ズ 作 品 研 究 I		2	
ジ ャ ズ 作 品 研 究 II		2	
ジ ャ ズ 作 品 研 究 III		2	
ジ ャ ズ 作 品 研 究 IV		2	

●専門教育科目 声楽専攻

授業科目名	単位数		備考
	必修	選択必修	
声 楽 研 究 I	2		18単位
声 楽 研 究 II	2		
声 楽 研 究 III	2		
声 楽 研 究 IV	2		
学 内 リ サ イ タ ル	2		
声 楽 作 品 研 究 I	2		
声 楽 作 品 研 究 II	2		
重 唱 研 究 I	2		
重 唱 研 究 II	2		
オ ペ ラ 演 習 I		2	
オ ペ ラ 演 習 II		2	
オ ペ ラ 演 習 III		2	
オ ペ ラ 演 習 IV		2	
声 楽 特 殊 研 究 A		2	
声 楽 特 殊 研 究 B		2	
声 楽 特 殊 研 究 C		2	
声 楽 特 殊 研 究 D		2	
声 楽 特 殊 研 究 E		2	
声 楽 特 殊 研 究 F		2	
声 楽 作 品 研 究 III		2	
声 楽 作 品 研 究 IV		2	
重 唱 研 究 III		2	
重 唱 研 究 IV		2	

●専門教育科目 作曲専攻(作曲)

授業科目名	単位数		備考
	必修	選択必修	
作 曲 研 究 I	2		18単位
作 曲 研 究 II	2		
作 曲 研 究 III	2		
作 曲 研 究 IV	2		
学 内 リ サ イ タ ル	2		
作 曲 演 習 I	2		
作 曲 演 習 II	2		
作 曲 演 習 III	2		
作 曲 演 習 IV	2		
作 曲 特 殊 研 究 I		2	
作 曲 特 殊 研 究 II		2	
作 曲 特 殊 研 究 III		2	
作 曲 特 殊 研 究 IV		2	
作 曲 作 品 研 究 I		2	
作 曲 作 品 研 究 II		2	
作 曲 作 品 研 究 III		2	
作 曲 作 品 研 究 IV		2	

●専門教育科目 声楽専攻(ジャズヴォーカル)

授業科目名	単位数		備考
	必修	選択必修	
ジャズヴォーカル研究 I	2		18単位
ジャズヴォーカル研究 II	2		
ジャズヴォーカル研究 III	2		
ジャズヴォーカル研究 IV	2		
学 内 リ サ イ タ ル	2		
ヴォーカルアンサンブル演習 I	2		
ヴォーカルアンサンブル演習 II	2		
ヴォーカルアンサンブル演習 III	2		
ヴォーカルアンサンブル演習 IV	2		
ジャズ特殊研究 I		2	
ジャズ特殊研究 II		2	
ジャズ特殊研究 III		2	
ジャズ特殊研究 IV		2	
ジャズ作品研究 I		2	
ジャズ作品研究 II		2	
ジャズ作品研究 III		2	
ジャズ作品研究 IV		2	

●専門教育科目 作曲専攻(映像音楽)

授業科目名	単位数		備考
	必修	選択必修	
映 像 音 楽 研 究 I	2		18単位
映 像 音 楽 研 究 II	2		
映 像 音 楽 研 究 III	2		
映 像 音 楽 研 究 IV	2		
学 内 リ サ イ タ ル	2		
映 像 音 楽 演 習 I	2		
映 像 音 楽 演 習 II	2		
映 像 音 楽 演 習 III	2		
映 像 音 楽 演 習 IV	2		
映 像 音 楽 特 殊 研 究 I		2	
映 像 音 楽 特 殊 研 究 II		2	
映 像 音 楽 特 殊 研 究 III		2	
映 像 音 楽 特 殊 研 究 IV		2	
映 像 音 楽 作 品 研 究 I		2	
映 像 音 楽 作 品 研 究 II		2	
映 像 音 楽 作 品 研 究 III		2	
映 像 音 楽 作 品 研 究 IV		2	

●専門教育科目 作曲専攻(電子オルガン)

授業科目名	単位数		備考
	必修	選択必修	
電子オルガン研究Ⅰ	2		18単位
電子オルガン研究Ⅱ	2		
電子オルガン研究Ⅲ	2		
電子オルガン研究Ⅳ	2		
学内リサイタル	2		
電子オルガン演習Ⅰ	2		
電子オルガン演習Ⅱ	2		
電子オルガン演習Ⅲ	2		
電子オルガン演習Ⅳ	2		8単位以上
電子オルガン特殊研究Ⅰ		2	
電子オルガン特殊研究Ⅱ		2	
電子オルガン特殊研究Ⅲ		2	
電子オルガン特殊研究Ⅳ		2	
電子オルガン作品研究Ⅰ		2	
電子オルガン作品研究Ⅱ		2	
電子オルガン作品研究Ⅲ		2	
電子オルガン作品研究Ⅳ		2	

●専門教育科目 音楽教育学専攻(音楽学)

授業科目名	単位数		備考
	必修	選択必修	
音楽学研究Ⅰ	2		16単位
音楽学研究Ⅱ	2		
音楽学研究Ⅲ	2		
音楽学研究Ⅳ	2		
音楽学演習Ⅰ	2		
音楽学演習Ⅱ	2		
音楽学演習Ⅲ	2		
音楽学演習Ⅳ	2		
音楽教育学特講Ⅰ		2	4単位以上
音楽教育学特講Ⅱ		2	
音楽学特講Ⅰ		2	
音楽学特講Ⅱ		2	
音楽療法特講Ⅰ		2	
音楽療法特講Ⅱ		2	

●専門教育科目 音楽教育学専攻(音楽教育学)

授業科目名	単位数		備考
	必修	選択必修	
音楽教育学研究Ⅰ	2		16単位
音楽教育学研究Ⅱ	2		
音楽教育学研究Ⅲ	2		
音楽教育学研究Ⅳ	2		
音楽教育学演習Ⅰ	2		
音楽教育学演習Ⅱ	2		
音楽教育学演習Ⅲ	2		
音楽教育学演習Ⅳ	2		
音楽教育学特講Ⅰ		2	4単位以上
音楽教育学特講Ⅱ		2	
音楽学特講Ⅰ		2	
音楽学特講Ⅱ		2	
音楽療法特講Ⅰ		2	
音楽療法特講Ⅱ		2	

●専門教育科目 音楽教育学専攻(音楽療法)

授業科目名	単位数		備考
	必修	選択必修	
音楽療法研究Ⅰ	2		16単位
音楽療法研究Ⅱ	2		
音楽療法研究Ⅲ	2		
音楽療法研究Ⅳ	2		
音楽療法演習Ⅰ	2		
音楽療法演習Ⅱ	2		
音楽療法演習Ⅲ	2		
音楽療法演習Ⅳ	2		
音楽教育学特講Ⅰ		2	4単位以上
音楽教育学特講Ⅱ		2	
音楽学特講Ⅰ		2	
音楽学特講Ⅱ		2	
音楽療法特講Ⅰ		2	
音楽療法特講Ⅱ		2	

●選択科目

授業科目名	単位数		
	必修	選択必修	選択
器 楽 演 習 I			1
器 楽 演 習 II			1
器 楽 演 習 III			1
器 楽 演 習 IV			1
声 楽 演 習 I			1
声 楽 演 習 II			1
声 楽 演 習 III			1
声 楽 演 習 IV			1
オ ル ガ ン 奏 法 演 習 I			1
オ ル ガ ン 奏 法 演 習 II			1
オ ル ガ ン 奏 法 演 習 III			1
オ ル ガ ン 奏 法 演 習 IV			1
チ ェ ン バ ロ 奏 法 演 習 I			1
チ ェ ン バ ロ 奏 法 演 習 II			1
チ ェ ン バ ロ 奏 法 演 習 III			1
チ ェ ン バ ロ 奏 法 演 習 IV			1
オ ー ケ ス ト ラ I			1
オ ー ケ ス ト ラ II			1
オ ー ケ ス ト ラ III			1
オ ー ケ ス ト ラ IV			1
吹 奏 楽 I			1
吹 奏 楽 II			1
吹 奏 楽 III			1
吹 奏 楽 IV			1
室 内 楽 I			1
室 内 楽 II			1
室 内 楽 III			1
室 内 楽 IV			1
指 揮 法 I			1
指 揮 法 II			1
指 揮 法 III			1
指 揮 法 IV			1
創 作 研 究 I			2
創 作 研 究 II			2
創 作 研 究 III			2
創 作 研 究 IV			2
他 専 攻 授 業 科 目			4
学 部 開 設 科 目			8

器楽演習は、ピアノ、オルガン、チェンバロ、弦楽、管楽、打楽、邦楽、電子オルガン、ジャズ(器楽)とする。

声楽演習は、声楽およびジャズヴォーカルとする。

研究生（学部）募集要項

■ 募集する専攻

全専攻

■ 募集定員

若干名

■ 出願資格

- (1) 大学を卒業した者、もしくは大学卒業と同等以上の学力があると認められる者。
- (2) 本学学生と区別なく授業を受けるに足る日本語の能力を有する者。

■ 選考日程

(2018 年秋学期)

出願期間	2018 年 4 月 2 日（月）～5 月 7 日（月）【郵送・持込可。持込の場合は 16:00 まで】
合格発表	2018 年 5 月 25 日（金）
入学手続	2018 年 5 月 28 日（月）～6 月 8 日（金）

(2019 年度通年・春学期)

出願期間	2018 年 10 月 1 日（月）～10 月 30 日（火）【郵送・持込可。持込の場合は 16:00 まで】
合格発表	2018 年 11 月 26 日（月）
入学手続	2018 年 11 月 27 日（火）～12 月 7 日（金）

■ 出願書類

①志願書（「名古屋音楽大学入学試験志願票」）を使用
⑤パスポート・ビザコピー（氏名及び在留資格・在留期間・顔写真記載のページをコピーしてください。）
⑩研究計画書
⑩卒業（見込）証明書（本学卒業又は卒業見込みの者を除く）
⑪単位修得証明書及び成績証明書（本学卒業又は卒業見込みの者を除く）
推薦のある場合はその推薦書 ※外国語の場合は日本語訳

■ 選考方法

書類選考、面接（実技を課す場合がある）

■ 在学期間

- 入学の時期は、学年または学期の始めとする。ただし、特別な理由がある者についてはこの限りでない。
- 研究の必要により引き続き在学を希望する者に対しては、期間の延長を許可することがある。（原則として 1 年以内）

■ 入学金及び研究料

検定料	20,000 円
入学金	100,000 円
研究料	(年額) 360,000 円 (半期) 180,000 円

※本学音楽学部卒業生は入学金を免除する。

※一旦納入された検定料は、いかなる理由においても返還いたしません。

■ 受講科目

年間 45 分×26 回、半期 45 分×13 回を上限に実技レッスン又は指導を受講できる。

※指導教員及び授業科目担当教員の承諾を得て、学部の授業を受講することができる。ただし、単位は与えられない。

研究生（大学院）募集要項

■ 募集する専攻

全専攻

■ 募集定員

若干名

■ 出願資格

- (1) 大学院を修了した者、もしくは大学院修了と同等以上の学力があると認められる者。
- (2) 本学学生と区別なく授業を受けるに足る日本語の能力を有する者。

■ 選考日程

(2018 年秋学期)

出願期間	2018 年 4 月 2 日 (月) ~ 5 月 7 日 (月) 【郵送・持込可。持込の場合は 16:00 まで】
合格発表	2018 年 5 月 25 日 (金)
入学手続	2018 年 5 月 28 日 (月) ~ 6 月 8 日 (金)

(2019 年度通年・春学期)

出願期間	2018 年 10 月 1 日 (月) ~ 10 月 30 日 (火) 【郵送・持込可。持込の場合は 16:00 まで】
合格発表	2018 年 11 月 26 日 (月)
入学手続	2018 年 11 月 27 日 (火) ~ 12 月 7 日 (金)

■ 出願書類

①志願書（「名古屋音楽大学入学試験志願票」）を使用
⑤パスポート・ビザコピー（氏名及び在留資格・在留期間・顔写真記載のページをコピーしてください。）
⑩研究計画書
⑩出身大学院修了（見込）証明書（本学修了又は修了見込みの者を除く）
⑪単位修得証明書及び成績証明書（本学修了又は修了見込みの者を除く）
推薦のある場合はその推薦書 ※外国語の場合は日本語訳

■ 選考方法

書類選考、面接（実技を課す場合がある）

■ 在学期間

- 入学の時期は、学年または学期の始めとする。ただし、特別な理由がある者についてはこの限りでない。
- 研究の必要により引き続き在学を希望する者に対しては、期間の延長を許可することがある。（原則として 1 年以内）

■ 入学金及び研究料

検定料	20,000 円
入学金	100,000 円
研究料	(年額) 480,000 円 (半期) 240,000 円

※本学大学院修士課程修了生は入学金を免除する。

※一旦納入された検定料は、いかなる理由においても返還いたしません。

■ 受講科目

年間 60 分×26 回、半期 60 分×13 回を上限に実技レッスン又は指導を受講できる。

※指導教員及び授業科目担当教員の承諾を得て、本大学院及び学部の授業を受講することができる。ただし、単位は与えられない。

譜例

ヴィオラ



チェロ



コントラバス



例題 作文・小論文課題

【音楽教育】

下記の2つの課題から1つを選び、論述しなさい。

1. あなたが好ましいと思う、中学校音楽科の授業のイメージについてなるべく具体的に述べなさい。
2. 音楽の授業に用いる楽器として望ましいものを、リコーダー以外に一つ推薦し、その理由を述べなさい。

【音楽療法】

音楽療法は、発達障がいのある方（ダウン症、自閉症、脳性まひなど）、精神科領域のニーズのある方（統合失調症、うつ病、不安症など）、高齢者（認知症、パーキンソン病など）、人生の終末期にある方（末期ガンなど）、様々なニーズのある人が対象になります。あなたは将来的にどのような対象者と音楽を通して関わってみたいですか？それはどうしてですか？またその時に音楽がどのように作用すると思いますか？それらの対象者と音楽療法をする上で、どのような学びを名古屋音楽大学でしたいですか？

【音楽ビジネス】

あなたの企画でイベント（コンサート）を行うことが決まったとして、お客様を集めるためにどんな広報活動をしますか。

- (例)
- ・チラシ、ポスターなどの印刷物
 - ・新聞・テレビ・ラジオ・雑誌などのメディア使用
 - ・SNS、Twitter、HP などのネットコミュニケーションツール使用

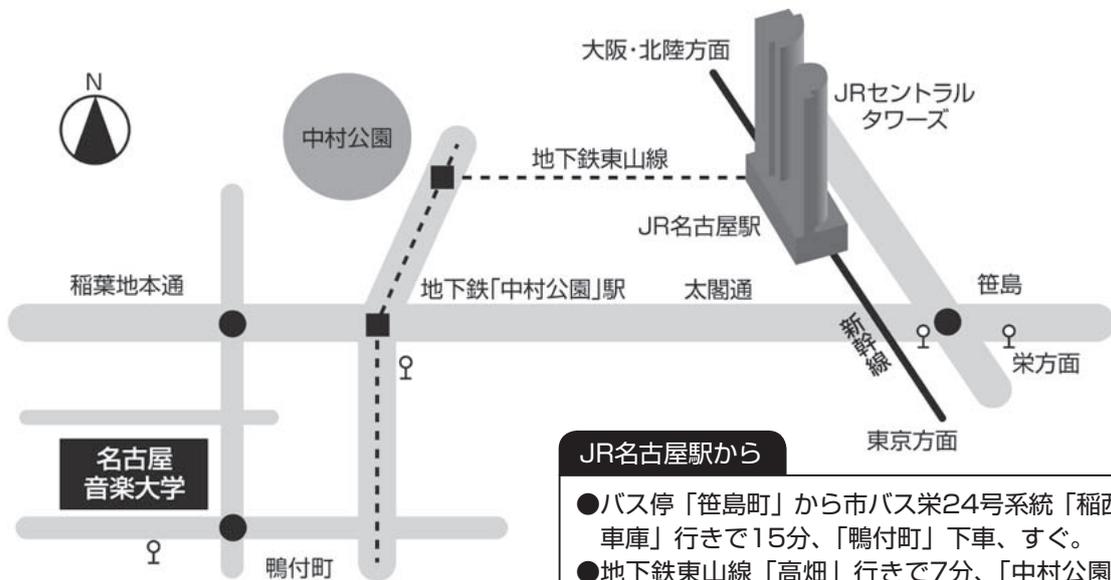
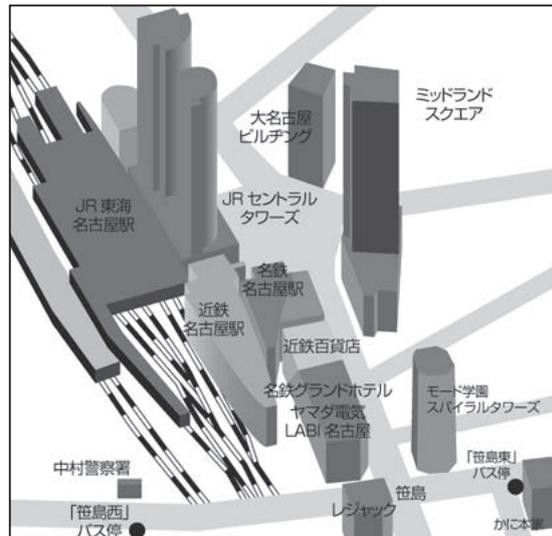
この例を参考にしてください。なお、ここにはないものを挙げても構いません。

交通案内

大学周辺図



名古屋駅周辺図



JR名古屋駅から

- バス停「笹島町」から市バス栄24号系統「稲西車庫」行きで15分、「鴨付町」下車、すぐ。
- 地下鉄東山線「高畑」行きで7分、「中村公園」下車、中村公園バスターミナル(1番のりば)から市バス中村13号系統「稲西車庫」行きで5分、「鴨付町」下車、すぐ。



学校法人 同朋学園

名古屋音楽大学 音楽学部／大学院

〒453-8540 名古屋市中村区稲葉地町 7-1 TEL 052-411-1545 (入試・広報センター直通)

<http://www.meion.ac.jp>